



学生海外派遣事業 帰国報告会

～日本では経験できないこと～

島田市国際交流協会は今年3月、米国の姉妹都市リッチモンド市と交流都市ハートフォード市へ、それぞれ学生親善使節を派遣しました。

リッチモンド市には、3月20日～29日の10日間、学生使節9人がホームステイをしながら、学校や文化施設を訪問。事前に練習を重ねた日本の体操や踊り、合唱や書道を披露して、現地の学生たちと交流を深めました。

また、ハートフォード市には3月22日～29日の8日間、7人が滞在。同じくホームステイをしながら、在ボストン日本国総領事館をはじめ州議事堂や教会といった、さまざまな歴史的建造物などを見学しました。

【現地での体験談や感想を報告】

5月14日、この学生親善使節らの帰国報告会が、プラザおおるりで開かれました。学生たちは、スライドを使うなど工夫しながら、自分が感じた「アメリカ」を思い思いに来場者に向けて発表しました。



ハートフォード市での体験や感じたことを発表

◎リッチモンド市派遣 ^{すぎおかはるみ} 杉岡晴海さん(高校3年)

「もう一度、アメリカに行こう」。帰国後、最初に思ったことです。礼儀・食べ物・服装・学校制度など、話に聞くだけでは分からなかった文化にじかに触れることができ、めぐるましくも充実した9日間でした。「外国語の勉強をしたい」「留学したい」という思いも強くなりました。将来は、市とリッチモンドの架け橋になりたいです。



リッチモンド市学生使節の発表

◎ハートフォード市派遣 ^{すずきちなつ} 鈴木千那都さん(中学3年)

自分の英語力が海外でどれだけ通用するか、また外国について学び、文化の違いを自分の目で確かめたいと思い、この事業に参加しました。英語が聞きとれず、ジェスチャーや単語だけで伝えることもありましたが、日に日に英語にも慣れ、少し自信も付いてきました。一方で、簡単な英単語でも微妙な発音の違いで伝わらないこともありました。もっと勉強して、この経験を将来に生かしたいです。

生の外国語に触れる機会が少ない中高生にとって、この派遣事業は、とても貴重な体験だったようです。自らの発した英語が、実際に海外で通じたときはうれしかったことでしょう。これらの経験が、皆さんの外国語学習に対する意欲向上につながることを期待しています。

※海外派遣報告書は、事務局で配布しています(無料)。

お気軽に、お問い合わせください。

お知らせ

■ 第51回島田市英語スピーチコンテスト 出場者募集

とき/9月3日(土) 午前9時30分開会

ところ/プラザおおるり 大会議室

対象/島田市・牧之原市・吉田町・川根本町に所在する学校の中高校生、または2市2町以外の学校に通う市内在住の中高校生

部門/中学生暗唱の部、中学生自由演題の部、高校生の部

申し込み/8月10日(木)までに、直接協会事務局へ



練習の成果を披露

■ 島田市国際交流協会 会員募集(随時)

姉妹都市や地域の外国人の皆さんと、さまざまな体験を通じて交流を深めてみませんか。

【島田市国際交流協会】

◎リッチモンド友好委員会 ◎ハートフォード友好委員会

◎国際フレンドシップ委員会 ◎日中友好委員会

◎モンゴル友好委員会

【主な事業】

海外訪問団・学生親善使節派遣、外国語講座(英会話・中国語など)、カルチャー講座(太極拳、料理教室など)
年会費/個人2,000円、家族3,000円、法人・団体10,000円(一口)